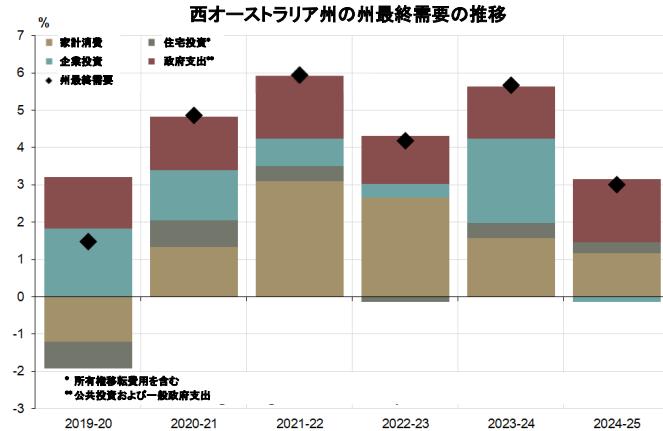
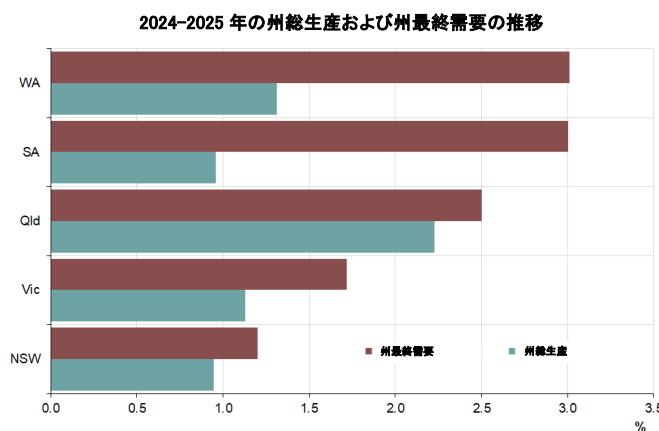


西オーストラリア州関連データハイライト

- 西オーストラリア州の州総生産は2024-25年に1.3%増加し、州最終需要は3.0%増加した。
- パース CPI 年間インフレ率は10月に0.7パーセンテージポイント低下して4.3%となった。
- 西オーストラリア州の賃金上昇率は第3四半期に前年比4.0%に上昇した一方、失業率は10月に4.1%に低下した。
- Cotality(旧CoreLogic)のパース住宅価格指数は11月に2.4%上昇した。

2024-25年州総生産

- 西オーストラリア州の州総生産(GSP)は2024-25年に1.3%増加し、これは前年に記録した1.2%とほぼ同ペースであった。
- 2024-25年のGSP成長を促したのが国内要因で、州最終需要は本土全州の中で最も高い3.0%増となつたものの、2023-24年の5.7%増からは少々鈍化した。
- 国内支出構成要素の大半が2024-25年の成長に寄与した。
- 民間消費は2.4%増で前年の3.1%を少々下回ったが、それでもタスマニア州の0.6%増やクイーンズランド州の1.3%増など他州の数値を大きく上回っていた。多大な貢献をしたのが、家賃およびその他住宅サービス、輸送、娯楽および文化、「その他財およびサービス」であった。電気、ガスおよびその他の燃料は2024-25年の民間消費増を押し下げた唯一のカテゴリで、これは州および連邦のエネルギー料金救済措置に基づく電気代自己負担額の減少を反映したものだった。
- 住宅投資増は0.4パーセンテージポイント増で6.2%となり、今も続く旺盛な住宅需要に支えられたこの数値は過去10年間で最も大きな伸びであった。関連する支出カテゴリで前年は13.7%増だった所有権移転費用は2.5%増であった。
- 一方、企業投資は0.7%減少し、鉄鉱石、重要鉱物、LNGへの鉱業投資に促された前会計年度の11.9%増後の一段となつた。
- 一般政府支出は2024-25年に6.0%増と堅調な伸びを見せた一方、公共投資は輸送および医療インフラに対する支出を反映した9.6%増となつた。
- 前年と同様に、外部要因が2024-25年のGSP増を押下げた。これは財およびサービス輸出の4.5%減、そして影響は小さいものの観光を中心とするサービスを唯一の促進要因とする輸入の1.0%増を反映していた。
- 2024-25年はほぼすべての業種が成長または横ばいで、唯一の例外は0.6%減の鉱業であった。14.6%というもっとも高い伸びを記録したのが、前年の穀物収穫期が豊作に恵まれた農林水産業であった。しかし、5.8%増と幾分落ち着いた数値ながら2024-25年のGSP増に最も貢献したのは、経済に占めるシェアが比較的大きい医療および社会教育であった。



マーケットハイライト

2025年11月

オーストラリア金利(%)			為替と株価		
RBA 政策金利目標	3.60	(0 pt)	AUD/USD	0.6550	(↑0.1%)
90日銀行手形	3.66	(↑3 pt)	AUD/JPY	102.30	(↑1.5%)
連邦政府3年国債	3.87	(↑27 pt)			
連邦政府10年国債	4.51	(↑22 pt)	ASX200	8614	(↓268 pt)

市場概況

- オーストラリア国債利回りは11月に大幅に上昇したが、これは10月のインフレおよび労働市場データを踏まえたRBAによる政策金利引下げに対する期待の喪失を反映したものだった。11月中旬に発表された10月の労働力調査によれば、国内雇用は堅調に増加した一方、11月下旬に初めて発表された詳細な10月度CPIは予想外の上昇を見せ、トリム平均年間インフレ率はRBAが掲げる目標バンド2-3%を上回った。
- 国債利回りの上昇はイールドカーブのフロントエンドで幾分顕著だったが、10年物利回りも米国の10年債とは対照的に着実な上昇を見せた。
- 豪ドルは11月に米ドルおよび日本円に対して上昇したが、これは米政府閉鎖終了後の世界市場における楽観主義の復活に支えられたものだった。豪ドルの上昇は日本円に対して特に大きく、AUD/JPYは2024年11月以降の最高レベルで月を終えた。
- 世界的な市場センチメントの改善にもかかわらず、ASX200は11月に金融政策緩和に対する期待の喪失に引きずられる形で3.0%下落した。最も大きな下落は情報技術部門でみられた一方、金融や不動産など金利敏感部門も大幅な下落を見せた。

WATC 指標銘柄債券の利回り			
満期	利回り 2025年11月28日	AGSスプレッド 2025年11月28日	
2026年10月21日	3.72 (↑17 pt)	+2 pt (↑5 pt)	
2027年10月21日	3.89 (↑26 pt)	+8 pt (↓1 pt)	
2028年7月20日	4.00 (↑28 pt)	+16 pt (0 pt)	
2029年7月24日	4.15 (↑30 pt)	+23 pt (0 pt)	
2030年10月22日	4.32 (↑30 pt)	+26 pt (↓2 pt)	
2031年10月22日	4.45 (↑29 pt)	+28 pt (↓1 pt)	
2032年7月21日	4.56 (↑26 pt)	+33 pt (↑1 pt)	
2033年7月20日	4.72 (↑27 pt)	+40 pt (↑5 pt)	
2034年10月24日	4.94 (↑25 pt)	+47 pt (↑1 pt)	
2035年10月24日	4.99 (↑25 pt)	+48 pt (↑3 pt)	
2037年10月21日	5.24 (↑24 pt)	+61 pt (↑4 pt)	

